

重層説明 資料

－事例－

沖縄市重層的支援体制整備事業

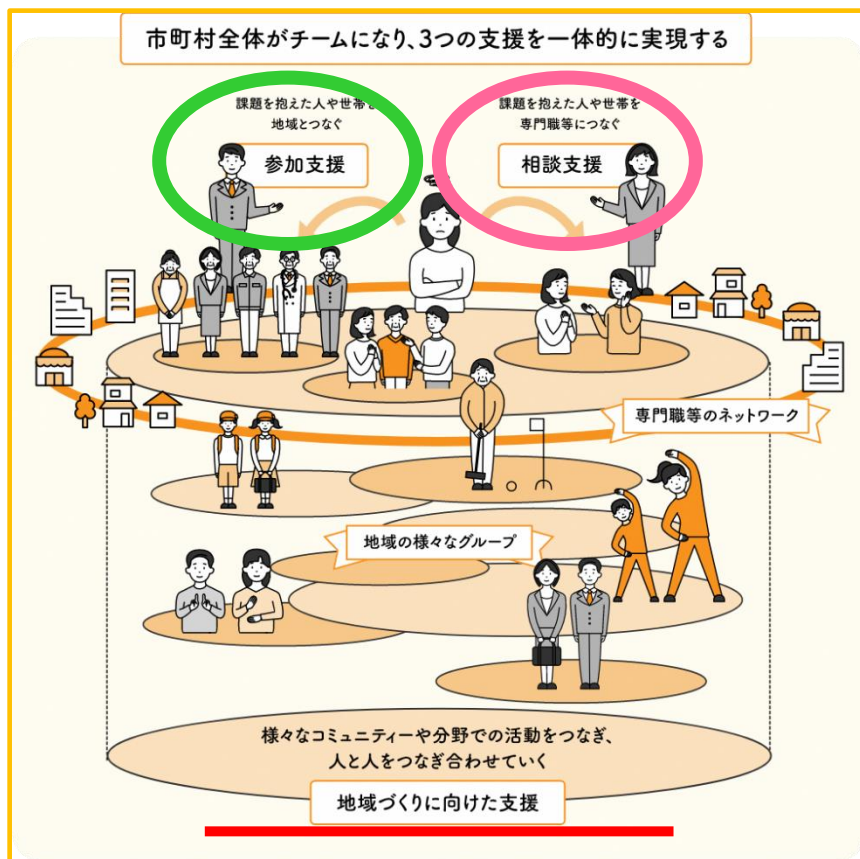
参加支援及び アウトリーチ等継続支援事 業



令和6年11月21日

沖縄市社会福祉協議会
地域福祉係 諸見里安葉

参加支援事業 および アウトリーチ等を通じた継続支援事業



【アウトリーチ等継続支援】

- ◆ 支援が届いていない人、支援が届きにくい人に支援を届ける。
- ◆ 関係構築、継続支援

【参加支援】

- ◆ 地域・社会とのつながりづくりの支援
- ◆ 制度・サービスだけではなく、ご本人のニーズをふまえた、分野をこえた様々な活動へつなぐ

制度・分野ごとの『縦割り』や「支え手」「受け手」を超えて

地域共生社会の実現

住民一人ひとりの暮らしや生きがい、地域をともに創っていく社会

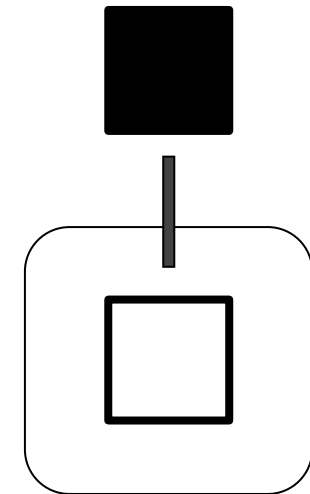
沖縄市社協の相談窓口（事業）

- ボランティア事業
- 要約筆記者派遣事業
- 生活福祉資金貸付事業
- 高齢者金銭管理相談事業
- 高齢者居住サポート事業
- 災害時あんしん避難支援事業
- 福祉なんでも相談（アウトリーチ相談員）
- ふれあいのまちづくり事業
（福祉連絡会・コミュニティソーシャルワーク）

事例① ～社協で支援した事例～

【事例】 民生委員さんから気になるお宅があるとの相談。

自宅内の電気もついていない。
敷地内にゴミがあふれ、窓や玄関、
中にもゴミが散乱している様子がある。
住人の方は、やせ細っていて、
衛生状態もあまり良くない…。
食事にも困っている様子で近所の方が
食事の提供をしている状況。
何とか支援できないでしょうか？

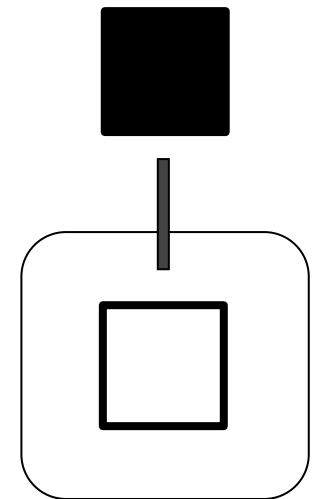


60代男性？

事例① ～社協で支援した事例～

【事例】 民生委員さんから気になるお宅があるとの相談。

- ⇒社協CSWにて訪問。何度訪問しても不在のため、お手紙や名刺を届ける。
- ⇒ご近所さんや自治会長に様子を聞く。ご本人に会ったり、変化あれば連絡いただけるよう依頼する。
- ⇒連絡を受け、社協紹介してもらい、ご本人の要望を聞き、支援につなげる。
- ⇒支援を受けながら、ご家族や地域にも引き続き関わってもらい、生活されています。



60代男性

事例② ～社協で支援した事例～

【事例】 学校や仕事に行けず、ひきこもり気味

① 30代女性

コロナ禍で休職中。友人も少なく、ひきこもり気味。
人と関わるのが苦手で、コミュニケーションがとりづらい。
一人でマイペースにできる活動がないでしょうか？

② 10代男性

友人関係で悩み、不登校になり、高校を中退。
自宅で過ごしているが、現在介護の仕事に興味がある。
社会経験がなく、すぐに就労するには自信がない…。

事例② ～社協で支援した事例～

【事例】 学校や仕事に行けず、ひきこもり気味

① 30代女性

⇒ 社協内のボランティアサロンで、切手切りボランティアや福祉用具などのお手入れのお手伝いなど、マイペースでできる活動を紹介。その後、復職したとの報告がある。

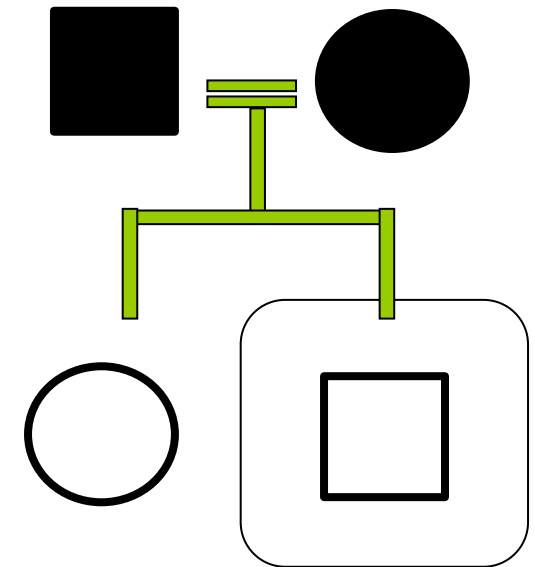
② 10代男性

⇒ 社協とつながりのある介護事業所へ相談し、学生ボランティアとして受け入れを打診する。ご本人の状況も事前にお伝えし、現場に入る前に調整を行う。2～3回活動参加。事業所にご理解いただき、ご協力いただきました。

事例③ ～社協で支援した事例～

【事例】モノ・ゴミ屋敷のご相談

障がい相談支援事業所より、
「通常の清掃では片付けが困難」な
世帯があるとのことのご相談。
単身世帯で、ご自身のみでは衛生
管理が難しく、障がいサービス利用を
検討しているが、現在の室内状況では
利用不可であるとのこと。
生活保護受給しており、清掃業者へ
依頼するのが難しい状況。

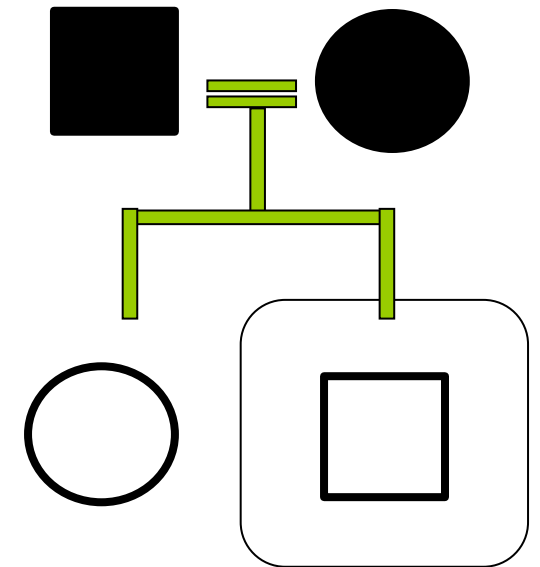


30代男性

事例③ ～社協で支援した事例～

【事例】モノ・ゴミ屋敷のご相談

- ⇒ 訪問や面談を通して、関係づくり
- ⇒ ご本人と一緒に、支援者、業者、社協職員で特別清掃を実施。
- ⇒ 清掃後も、継続して見守りや声かけを実施し、必要品があれば提供。
- ⇒ 地域住民にも見守りしてもらえようになり、情報が寄せられます。
- ⇒ 年齢も若く、身体も十分動けるので、ご本人のやりたいことを実現する支援へ（継続中）



30代男性